



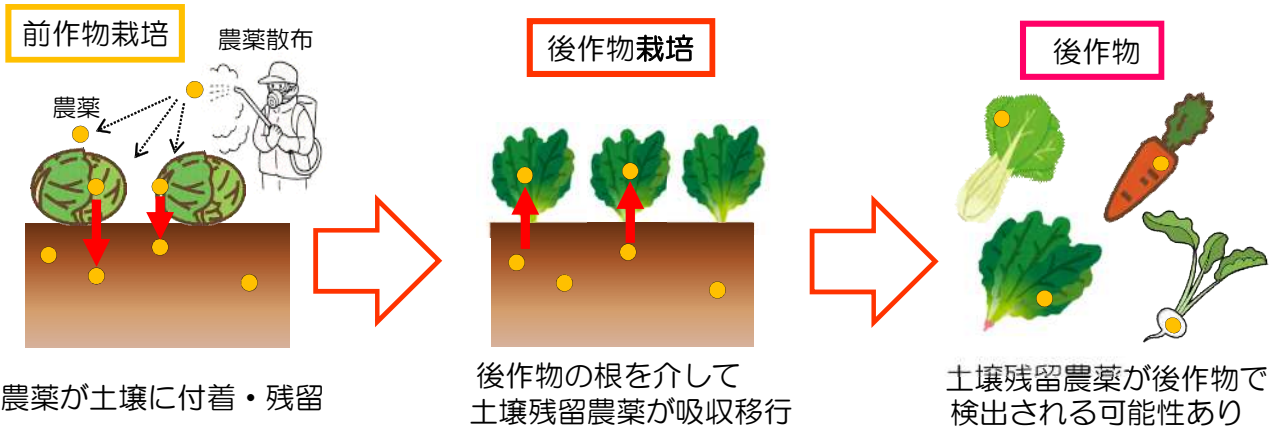
土壤残留農薬の分解促進技術を開発

— 農産物の更なる安全・安心を目指します —

開発の背景・ニーズ

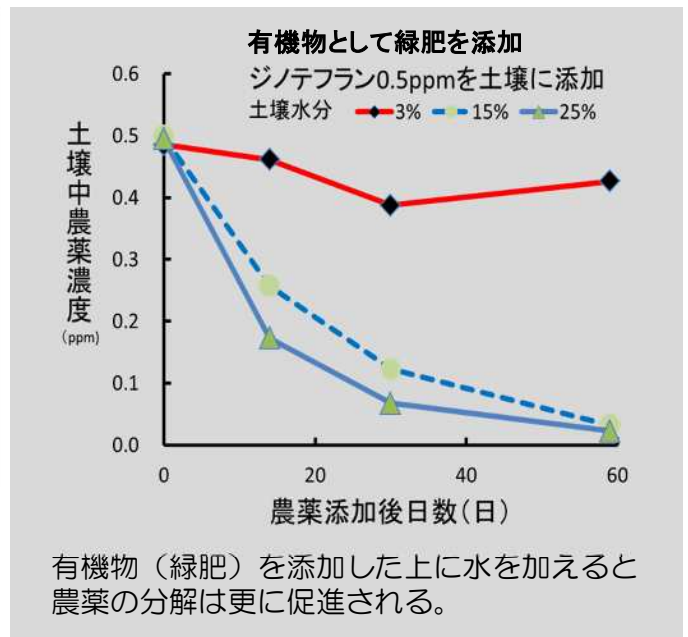
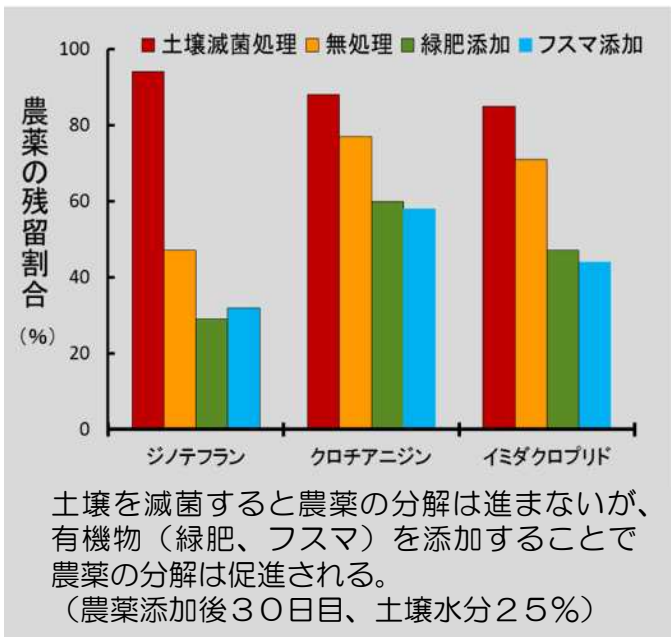
作物に散布された農薬の一部は土壤に残留します。この残留した農薬は土壤中で徐々に分解しますが、後作物への残留リスクや環境への影響などが懸念されています。

そこで、県内で使用量の多い農薬について、土壤中での分解を促進する技術の開発に取り組みました。



成果の内容

ネオニコチノイド系3農薬（ジノテフラン、クロチアニジン、イミダクロプリド）の土壤中での分解には土壤微生物が関与しており、有機物と水の添加により微生物の働きを高めることで、農薬分解が促進されることを明らかにしました。



愛知県農業への貢献

施設栽培では、収穫後に土壤の乾燥を防ぎ、緑肥やフスマをすき込むことで残留リスクの低減が期待できます。

本技術は安全・安心な農産物の生産と環境負荷の低減に貢献できます。